

～ たじみの未来を創造しよう～

令和6年度 市民と議会との対話集会

報告書

多治見市議会では、11月5日および11月7日に、市民の皆さまと議会が意見交換を行う「市民と議会との対話集会」を開催しました。多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度は、「公共交通～便利で移動しやすいまちとは？～」をテーマに皆さまと意見交換をさせていただきました。

対話集会の報告とあわせて、4月に開催しました「本庁舎をどうつくるのか？市民の声を聴く会」についても概要を掲載させていただきましたのでご覧ください。



テーマ 公共交通

～便利で移動しやすいまちとは？～

参加者合計

52人

11月5日(火)

会場 駅北庁舎

参加者

28人

11月7日(木)

会場 本庁舎

参加者

24人

発行：多治見市議会 編集：広報広聴研究会

多治見市日ノ出町2丁目15番地（議会事務局） TEL0572-22-9899 FAX0572-25-6437

テーマ

公共交通 ～便利で移動しやすいまちとは？～

◆路線バス、デマンド交通※¹について

- 楽しみながら使えるよう、バスを使ったらマイレージがたまるなどの施策はどうか。
- 路線バスはなくなったら困るため、公的な支援が必要ではないか。
- 笠原町方面は、10月のダイヤ改正でモザイクタイルミュージアムまで行かないバスが増えた。多治見市の観光スポットなのに、いかがなものか。
- 路線バスで大幅に時間が遅れたのに、説明がなく不親切であった。原因は休日の渋滞だったが、それを見越したダイヤを考えるべきである。
- 路線バスもその他のバス（市之倉トライアングルバスなど）も市之倉町から笠原町への運行がないため、大変不便である。
- 路線バスは本数やバス停が減ったが、ほかの交通会社が参入することはできないか。
- よぶくるバスについて、乗ってみたら運転手さんが親切で良かった。市之倉ハイランドには、よぶくるバスは昼間にはないので残念である。運転手不足の問題で、よぶくるバスがなくなると思うと怖い。

※1 デマンド交通…路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関。事前予約により運行するという特徴があり、運行方式や運行ダイヤ、発着地の自由度の組み合わせにより、多様な形態が存在する。本市では「小泉根本よぶくるバス」、「市之倉トライアングルバス」、「古虎溪よぶくるバス」が運行している。

◆バスチケット65※²について

- 市がもっとPRをしてほしい。便利な使い方やもっと利用しやすくなるような方策を検討してほしい。
- 良い施策ではあるが、地区によっては使用できない、利用しにくい。
- 近くにバス停がない、バス停が遠いなど、使用できる環境にない人には意味がない。タクシーや電車などで使えるようにしてほしい。
- 高齢者など、車の運転ができない市民に優しい補助制度を期待する。
- 限られた財源を生かすため、多くの市民が活用できる工夫や福祉について真剣に考えてほしい。



※2 バスチケット65…65歳以上(令和6年10月1日時点)の市民の方に市内で運行するバスで利用できるバスチケット(100円×30枚)を支給

◆地域あいのリタクシー※³について

- 区の規模に差があり、財政が厳しい区では補助が困難である。
- 1か月に2回の運行のため、少なくとも1週間に1回に増便してほしい。
- あいのリタクシーの導入は複雑で難しい。地域に任せず、市で管理すればさらに広範囲で有効に利用できると考える。

※3 地域あいのリタクシー…郊外地域における日常生活の移動手段としてタクシーを活用した生活交通であり、地域(区・町内会)がそれぞれの実情に合わせて運営するデマンド交通のこと。利用者の自己負担分以外の経費を市と地域(区・町内会)が負担しながら運行している。

◆その他の意見・提案・要望など

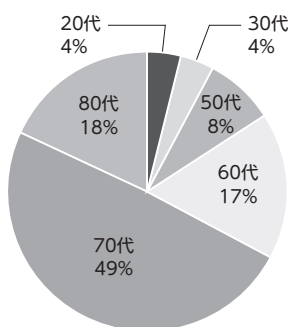
- 市として民間事業者に公共交通機関の利用を推奨することはできないか。
- 路線バスを維持するため、車を運転できる方もあえてバスを使うなど、市民一人一人がもっと公共交通を使うべきである。
- 公共交通を利用していない人を対象に地域ごとのヒアリングが実施されないと、公平で有効な取り組みにならない。

- 公共交通で移動手段を補うには限界があるため、自分たちの地域で取り組まないといけない。
- 民間事業者が全て運営するのには限界がある。例えば、チケット制にして動ける人が病院、買物に連れていくなど有償ボランティアを充実させる。
- 今後は市から車両を提供し、ボランティアで運行するライドシェアを促進してはどうか。
- 財源がないなら、交通税のような新たな税を設けてはどうか。
- 交通の利便性を有効的に高めるには、地域ごとにピンポイントでお金を使って適正化することが大切である。
- 高齢者に運転免許証の返納を促すと言うが、特典がないため返納すると何もできなくなる。安心して返納できるようにしてほしい。
- 新たな公共交通の一つとして電動自転車（シェアサイクル）を位置づけ、郊外にもシェアサイクルを増やし、駐輪場の充実や自転車レーンの整備などを検討してほしい。

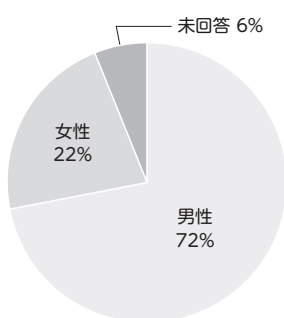
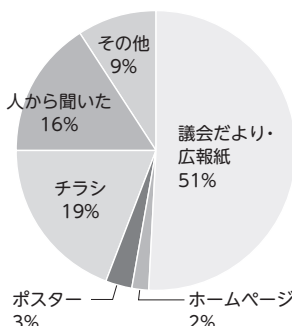
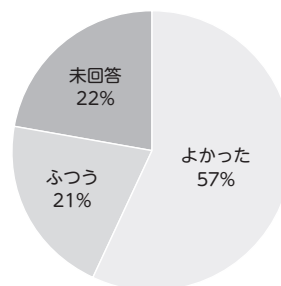


参加者アンケート集計結果

年 齢



性 別

今回の対話集会の開催を何で
知りましたか。(複数回答あり)対話集会のテーマ・内容
はどうでしたか。

今回の対話集会の感想 (○よかった・■よくなかった)

- 各地区の現状や自分では思いつかないアイデアを聞き、とても勉強になった。
- 大きな問題ではあるが、よりよいまちを目指してまちづくりができると思った。
- 率直な意見交換ができて良かった。
- 多治見市の公共交通の状況が分かり、勉強になった。
- 各地域の問題点がわかった。
- 多治見市の公共交通のあるべき姿をはっきりさせてほしい。そこに向けて議論すべきである。
- 課題が曖昧で、細かいところまで話せていない気がした。地域差が大きいのでまとまらない気がした。
- パーティションを利用する、小会議室へ移動するなど、会場の工夫がほしい。
- 各地区で対話集会を開催してほしい。

今後、対話集会で取り上げるとしたら どんなテーマがよいですか？

- ・年代・性別・地域ごとのニーズは何か
- ・高齢社会の困りごとについて
- ・防災について
- ・ごみ収集について
- ・町内会の存続方法について
- ・自治会活動について
- ・少子化対策について
- ・人口の流出を止めるにはどうしたらよいか
- ・若い人が楽しく住める市にするためには？
- ・市民が主役のまちづくりについて
- ・まちづくり・活性化について
- ・立地適正化計画について
- ・地域福祉協議会について
- ・空き家対策について

対話集会を終えて

皆さまから多くのご意見をいただき、公共交通についての関心の高さと地域交通の利便性を向上させたいという思いが伝わってきました。また、「毎年、市民と議会との対話集会を開催されているが、市民の意見はどのように市政に生かされているのか。」といった率直なご意見もありました。多治見市議会として、いただいたご意見を踏まえ、少しでも現状が改善されるよう議会活動に取り組んでおり、これからも取り組んでまいります。

また、できるだけ多くの皆さまにご参加いただけるようテーマや日時、開催場所の設定を工夫してまいります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

内容の詳細は、多治見市議会のホームページに後日掲載いたします。→



本庁舎をどうつくるのか？ 市民の声を聴く会概要報告

令和6年4月8日から4月30日にかけて、「本庁舎をどうつくるのか？ 市民の声を聴く会」を市内8か所で開催し、延べ122人にご参加いただきました。

新本庁舎建設基本計画に市民の皆さまの声を反映させるため、**1. 行政・窓口サービスについて、2. 交流・にぎわいについて、3. 駐車場について、4. 予算・規模について**の4つのテーマに対し、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

いただいたご意見は、議会として提案すべき事項、執行部に議論を促す事項、基本設計で考慮すべき事項、意見として報告すべき事項に分類し、これを踏まえ、新本庁舎建設基本計画策定に向けた提言書を作成し、令和6年7月12日に市長へ提出しました。

提言事項と基本計画への反映について、一部を紹介します。



提言事項と新庁舎建設基本計画への反映

駐車場は新規に確保してください

基本計画 アクセス性の検討

移動時の自家用車利用が多い本市の環境や多治見駅に隣接するという立地から、来庁者数に対する駐車場不足を懸念する声があります。しかし、令和5年10月から令和6年9月まで実施した多治見駅周辺地区駐車場実態調査及び将来需要予測から、駅北庁舎地下駐車場、駅北立体駐車場及び多治見駅周辺の民間駐車場との連携により、来庁者駐車場の必要台数は確保できると考えています。

今後、駐車場の附置を義務付けた条例の要件を満たすだけでなく、市民がより利用しやすい新庁舎となるよう、駐車場の確保や公共交通機関の充足に向けた検討など、施設へのアクセス性について引き続き検討が必要です。

建設費用は可能な限り抑えてください

基本計画 概算事業費

概算事業費については、あくまで現段階における建設単価等を用いて試算した想定金額であり、今後の設計以降の各段階において、コスト抑制の観点から踏まえた仕様の決定などを通じて財政負担の軽減に努めるものの、詳細設計の実施や建設コストに係る物価上昇、労務費の上昇等により変動します。

概算事業費合計 約74.1億円

(新庁舎建設工事費、基本設計・実施設計費、工事監理費、外構工事費)

その他に関連工事費として、約6.4億円を要します。

※新本庁舎建設基本計画策定に向けた提言書及び市民の声を聴く会の報告書は、多治見市議会のホームページをご覧ください。→

